



### モニタ機能

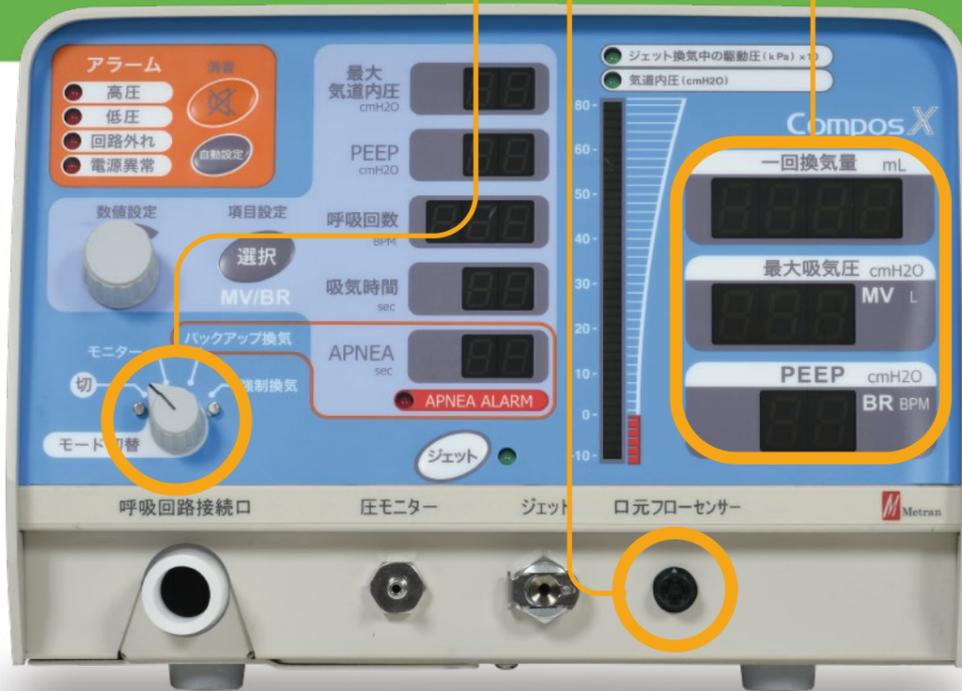
モニタには動物の1回換気量、最大吸気圧、PEEP圧を表示。更に表示切り替えで分時換気量と呼吸回数も表示可能となりました。常に動物の呼吸状態を把握でき、呼吸モニタとしてご使用頂けます。

### 口元フローセンサー機能

口元フローセンサーの採用で、呼吸の状態を更に正確に把握できるようになりました。

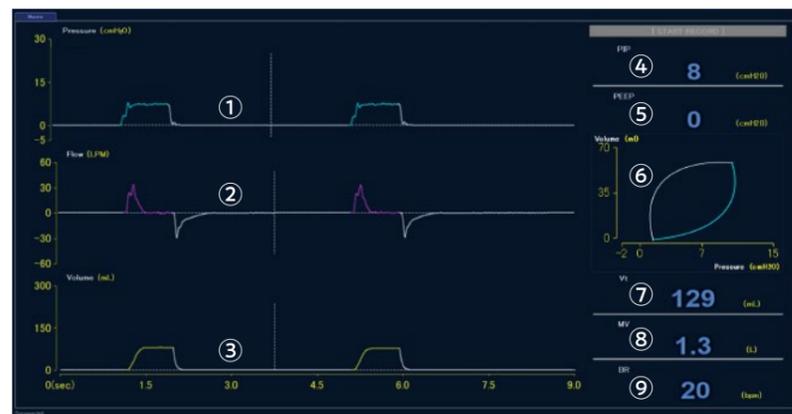
### バックアップ換気機能

自発呼吸時の麻酔管理中に無呼吸状態になった場合、呼吸器が自動でバックアップ換気を開始します。



### グラフィックモニタ (Windows10以降を推奨)

パソコン・タブレットに接続することで視認性UP!グラフィックモニタの各種波形・PVループからの情報を元に、よりの確な呼吸管理が可能となりました。



Windows専用のアプリをダウンロードして使用可能。

### 呼吸ホールド装置 ※オプション

CT撮影時に操作室から息止め操作が可能。綺麗な撮影を実現させます。



### 小型動物から大型動物まで、幅広い動物に対応

- 換気モードはプレッシャーリミット・タイムサイクル方式を採用。小型動物から大型動物までさまざまな動物に対応できます。流量補正機能内蔵により、決められた時間内に設定圧までガスを送り込みます。
- SIMVにはフロートリガーを採用。圧トリガーに比べて微量な換気でもトリガーが反応し、ファイティングの発生を防ぎます。
- 呼吸回数は1~255回/分まで設定可能。自発呼吸の補助呼吸から高頻度人工呼吸まで柔軟に対応します。



### アラーム機能も充実

- 「高圧」「低圧」「停電」に加え「回路外れ」にも警報を発信。モニタ表示で原因が一目でわかります。
- 気道内圧計は高精度の圧力センサを採用。バーグラフの表示で数値は一目瞭然です。従来の器械式マンメータに比べて、より正確な表示を実現しました。
- アラーム自動設定機能により設定圧に対してアラーム値が自動設定されるので、アラームの設定忘れを防ぎます。



### ジェットベンチレーション用回路を独立

- ジェットチューブを使用して酸素補助が可能です。
- 鏡視下時や、挿管不可能な小動物などデリケートな呼吸管理にも利用できます。

